

いちよう

上小地区賛助会 会報 141号

令和4年3月18日 発行
(公財) 長野県長寿社会開発センター上小支部

アリオ上田店でのいきいき作品展など中止

新型コロナウイルスのオミクロンという変異株の感染拡大により、上小地域も長野県の感染警戒レベルが5となり、さらに長野県全域でまんえん防止等重点措置が適用されたことで感染警戒レベルが6となっていました。このことにより上小地区賛助会でも、1月に予定していたアリオ上田店でのいきいき作品展を中止することにしました。昨年へ続き2年連続での中止となり、本当に残念です。

また、3月に予定していた賛助会主催の講演会も中止することになりました。来年度は事業が計画通り実施できるように祈っています。

令和4年度の予定（予告）

6月3日（金）午後、上小地区賛助会総会を実施の予定です。
別途、グループ長には連絡いたしますが、予定しててください。

令和4年度シニア大学学生募集中

令和4年度シニア大学の学生を募集しています。
まだ定員に余裕がありますので、申し込みをご検討ください。

お問い合わせはシニア大学事務局
0268-25-7124 まで

昔の「いちよう」の記事から

昔の資料を整理していたら「いちよう」の第1号を見つけました。平成3年8月1日発行ですから約30年前になります。この上小賛助会会報に「いちよう」と名付けた由来が記載されていたので紹介します。ご存じの方はいますでしょうか。以下はその抜粋です。

『さて、このたび上小支部では、賛助会の各種の情報をお知らせし、あわせて、会員相互の連携を深めるため、会報「いちよう」を発刊致しました。いちよう（＝銀杏）の葉は末広がりて長寿社会の繁栄を表し、また「銀」の字は高齢者のイメージを掛け表しています。』

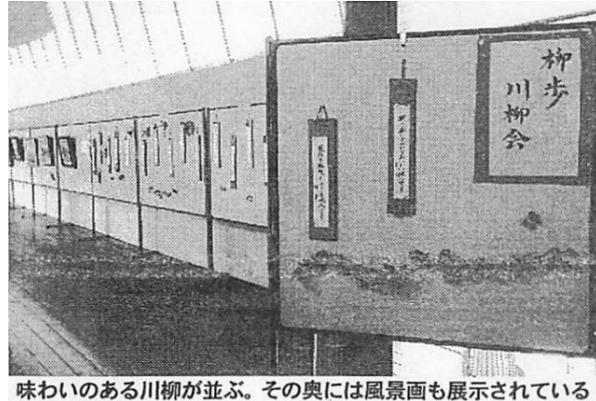
30年続いている歴史に感心するとともに、これからも長く続いていくことを願います。

（事務局）



グループ紹介 川柳「柳歩」

平成18年3月設立のグループ、川柳「柳歩」は感染防止をおこないながら活動を続けています。昨年6月には室賀にあるささらの湯での「楽しい川柳展」の様子が、信毎、信州民報で紹介されました。



味わいのある川柳が並ぶ。その奥には風景画も展示されている

グループ長の舞沢さんに最近の句の中から選んでいただきました。

活動状況を少し前の写真から
ピックアップ

2017年の活動にて



2019年の活動にて



川柳 「柳歩」

ああ師走赤穂浪士に真珠湾
業煮やす地球荒らしとオミクロン
席替えに一喜一憂ニキビ顔
腹の虫機嫌そこねて席を立つ
吹き冷ます立ち食いそばの忙しなさ
青春のさらさら髪に戻りたい
通勤の電車風切る赤い橋
耐えること知らぬ世代に耐えている

崇子
信幸
久義
乾司
晚鐘
公男
健一
嘉門

2020年の賛助会作品展にて



会員にフォーカス！

上小地区賛助会副会長を務めている松木節子さんは賛助会グループ活動とは別に、木彫をやっているとの事で経過をまとめてもらいました。

私が木彫クラブに入会したのは26年前。友人に誘われてクラブに見学に行ったのが始まりです。その当時、20数名の方達が一生懸命手を動かし、その上、口も動かし楽しそうに笑い声をあげ、一方では真剣に先生に指導していただいている人と、自由な雰囲気がとても気に入り、さっそく入会しました。

最初は筆箱のような物入れの周りの絵を彫ることから始めました。今、それを見ると幼い彫り方だなと思います。それから26年、仲間達も亡くなった方、退会した方、新たに入会してきた方と人流は変わりましたが、現在、9名で毎月2回活動しています。作品は大きなものは1年がかり、小さなものは2～3回で仕上げています。作品も数多くあり、古い家には飾りきれません。2～3年に1回発表会をしていましたが、ここ2年はコロナの影響で現在未定となっています。

手指を動かすことは脳の活性化にもつながり、年齢は関係ないので挑戦してみませんか？作品が出来上がると達成感が味わえますよ。

この話のように松木さんは何事にも元気いっぱい活動しています。少しは見習わなくてはと思っています。

(事務局)



【 十二支 】



【床の間は所せまし】



【 大作です 】



【 天井付近の壁にも 】



【 こんなものも発見 】



会員投稿

「チェリーピッキング論法」ということ

チェリーピッキング（サクランボ狩り）論法とは、自分に都合のよい証拠（データ）ばかりを集めて自分の意見には裏付けがあると主張すること。主張しないまでも、自分で納得して行動してしまう。



良いものだけを採る

2017年にEテレで「オイコノミア」（経済学の語源）という番組をやっていて、偶然見てなるほど思いました。その時の例で挙げていたのは、受動喫煙に対する情報でした。

①受動喫煙によって肺がん発生のリスクが1.3倍上昇する。

②受動喫煙の防止法が施行されると外食産業の損失は8401億円に達する。

当時、受動喫煙によってがん発症のリスクが上昇するので、受動喫煙防止法について世論が盛り上がっていた時期です。

外食産業の方であれば②を信じたくくなります。だから、受動喫煙防止法は反対、となります。

①は複数の研究に基づき検証されていますが、②は単なる予想に過ぎない情報です。さらに言うと、②については喫煙規制で飲食店の売り上げは減らない、または増えるという国外での検証結果があります。受動喫煙がなくなることで、安心して飲食店に行く人も増えるということです。

受動喫煙防止法の制定時にはこのような、情報のやりとりで論議をしていたようです。このように、自分に都合のよい情報を選んで物事の根拠（自分の意見）にしてしまうことはよくあることです。情報の根拠や正しさをよく考える必要があります。

自分の身近な行動でのチェリーピッキングに気を付けたいものです。（匿名希望）

【退職のあいさつ 事務局 飯島安仁】

賛助会の事務局を務めてまいりましたが、3月をもちまして退職いたします。あっという間の3年間でした。この間、たくさんの方と関わり、たくさんのお会いがありました。そして多くの事を学び、思い出もたくさんできました。印象に残っているのは展示会・発表会です。準備は大変でしたが、皆さんがいきいきと活動している姿に、こちらも元気をもらいました。苦労してやったことだからこそ達成感もひとしおではないでしょうか。私も賛助会みなさんに負けないように、これから過ごしていきたいと思っています。

編集後記

冬季オリンピックが終了しました。ドーピングや不可解な判定など、すっきりしない話題もありましたが、やはりスポーツは人々に感動与えるものだなあと感じました。特に、そのプロセスやアスリートの生き様に対して、自分にない尊いものが心の中に感銘を呼ぶのだと感じました。

それにしても、はやく日常をとり戻し、おもいきり活動できる日が来てほしいものです。

（事務局）